

第410回市（入札日 2017年11月17日）

— 全面的に高値でほぼ完売。本格的なシーズン入りへ —

出品量は1,444.2m³と、前年同月比23.5%もの増加となりました。メジロカバが502.4m³と前年同月の3倍以上になるなど、カンバ類の出品が特に目立ち、全体の出品量を押し上げました。良材も多く、活発な入札がみられました。元落ち率は全体で2.2%、樹種別にはナラが0.23%、メジロカバが0.32%となるなど、ほぼ完売といえる状況で、本格的なシーズン入りを感じさせる市となりました。

次回（第411回）は12月15日（金）、目標数量は2,000m³とのことです。

○出品数量

官材・単 桧	350.1m ³	560桧	1,221本
官材・ロット	238.1m ³	34桧	1,497本
民材・単 桧	703.6m ³	958桧	2,317本
民材・ロット	152.4m ³	19桧	1,261本
計	1,444.2m ³	1,571桧	6,296本

（樹種別）

タモ213.5m³・624本、マカバ27.7m³・62本、セン73.9m³・229本、ナラ249.3m³・1,002本、ニレ16.6m³・34本、キハダ11.7m³・37本、クルミ13.8m³・56本、アサダ14.8m³・57本、ホホ32.6m³・166本、エンジュ5.1m³・47本、カツラ27.5m³・84本、ザツカバ50.5m³・179本、シュリ1.7m³・6本、イタヤ52.6m³・199本、サクラ10.1m³・47本、シナ64.2m³・302本、メジロカバ502.4m³・2,886本、ウォールナット26.6m³・19本、アオダモ4.4m³・28本、その他36.6m³・160本（広葉樹計1,435.7m³・6,224本）、イチイ3.8m³・68本、アカエゾマツ-m³・-本、クロエゾマツ4.8m³・4本、カラマツ-m³・-本、（針葉樹計8.5m³・72本）

○販売数量 1,411.4m³（元落ち率2.2%）

○販売金額 6,332万円（1m³あたり平均44,868円（前回43,174円））

○主要樹種の平均単価（1m³あたり、カッコ内は前回）

タモ	67,611円（41,833円）	キハダ	25,284円（23,445円）
マカバ	61,135円（32,585円）	カツラ	37,256円（27,536円）
セン	49,584円（22,824円）	ザツカバ	35,070円（17,978円）
ナラ	50,965円（37,873円）	メジロカバ	48,999円（33,474円）
ニレ	32,360円（42,284円）		

○高値（1m³あたり、外材のみの樹種・イチイ・エンジュは除く。）

- ①316,900円（メジロカバ 3.0m、40cm、1本、0.480m³）
- ②299,000円（セン 7.0m、54cm、1本、2.156m³）
- ③291,000円（セン 2.0m、84cm、1本、1.411m³）

2017年12月2日作成（嶋瀬）